

# 高松山スキー

記 T村M

メンバー:T村M、T村E

2022/4/2(土) 晴れ

3月の空沢山に続き、頸城界隈で山スキー。高松山に行ってきました。

「道の駅うみてらす名立」で前泊し、朝、笹倉温泉へ移動。

笹倉温泉の駐車場は満杯で路駐になってしまった。

駐車で余計な時間がかかったので、急いでスキー支度をして笹倉温泉を出発。早川上流に掛かる橋を渡ってつづら折りの林道をジグザグで登って行く。つづら折りの最後の方の高度感のあるトラバースも、今年はしっかりと道ができていて怖い思いをせずに通過できた。



つづら折りを超え 892mと 981mの鞍部に到着。鞍部のすぐ先で東へ進めば空沢山方面、南へ進めばアマナ平方面、高松山へは南へ行く。

アマナ平に到着。高松山稜線の取りつきは、アマナ平の南端のため 1.2Km ほどさらに南へ進む。10分程で取りつき(1100m)に到着。高松山稜線は取りつきから山頂まで急斜面が続く。ここで大休止を取る。



20分程休憩後取りつきから登り開始。取りつき(1100m)から 1300m 付近まで南に進むと尾根が南

西に向く。ここで南の景色が一望でき、正面に焼山とその南斜面がデーンと目に飛び込んでくる。1500m 付近で尾根が西に向きを変え、正面に高松山が壁のように広がっている。尾根は徐々に狭くなってゆき、1570m 付近で傾斜も急になってきたので、板を担いでアイゼン歩行に切り替えた。山頂直下はさらに急になり最後は雪庇の切れ目を這い上がる。



高松山山頂(1720m)に到着、山頂には2パーティー(歩き2名、スキー3名)いた。歩きのパーティーは私たちが登って来た尾根を下り、スキーのパーティーは私たちが登って来た尾根の北斜面を気持ちよさそうに滑って行った。

シールを外し、大斜面を滑降する。降り口から広い斜面で傾斜も良く雪質も良く、この時間でもスキーが良く滑る。大斜面を沢床まで標高差500m下降した。今年は残雪が多く沢床をさらに下降することができた。



1000m 付近からゴルジュ帯に入ると左岸からの雪崩のデブリが沢床に広がり、ここから右岸のトラバースが始まる。ゴルジュ帯の出口(850m)まで、150m ほどの標高差を右岸トラバースで抜けたが、沢床のデブリの淵を滑ることもできたようだった。そうすれば、もっと楽に下ることができたようだ。



高松山山頂から 45 分ほどで、新田山のコル下の広河原 (800m) に到着。ここからシールを装着しコルまで 50m 右上、雪面は程よい硬さだったので思っていたより楽に上がることができた。雪面が柔らかいと横滑りで苦労しただろう。



新田山のコルから北西斜面を滑り、アケビ平から焼山温泉向かう林道 (500m 付近) に合流、合流後は林道を滑り、林道は早川沿いを焼山温泉方面に向かっていているが、早川を渡渉した。渡渉点を探したが濡れずに渡れるところが無くなるべく濡れないように歩くのに結構苦労した。(20 分もかかってしまった。焼山温泉跡まで滑って担いで戻っても時間はあまり変わらなかったかもしれない)

渡渉後、道路 5 分弱歩き笹倉温泉駐車場着。温泉につかり一日の疲れを洗い流し帰路に就いた。

コースタイム : 笹倉温泉 7:15 ~ 9:05 892mと 981mの鞍部 ~ 10:00 アマナ平 ~ 10:10 高松山取付き(1080m) 10:38 ~ 13:45 高松山(1725m) 14:20 ~ 一ノ倉川滑降 ~ ゴルジュ帯右岸をトラバース ~ 15:05 新田山コル下(800m) ~ 15:49 新田山コル ~ アケビ平からの林道 ~ 16:40 笹倉温泉

以上